

平成 24 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 1 月 11 日

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所 東
 コード番号 2670 URL http://abc-mart.co.jp/ir/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野口 実
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 小島 穰 (TEL) 03(3476)5452
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 1 月 12 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 2 月期第 2 四半期の連結業績(平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 2 月期第 3 四半期	102,056	10.5	19,970	4.2	19,466	2.8	10,478	△22.8
23 年 2 月期第 3 四半期	92,382	12.2	19,157	8.6	18,933	3.3	13,576	34.4

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	139.16	—
23 年 2 月期第 3 四半期	180.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 3 四半期	122,981	86,881	70.4	1,149.94
23 年 2 月期	111,087	83,428	72.4	1,067.98

(参考)自己資本 24 年 2 月期第 3 四半期 86,584 百万円 23 年 2 月期 80,413 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	—	19.00	—	29.00	48.00
24 年 2 月期	—	19.00	—		
24 年 2 月期(予想)				23.00	42.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成 24 年 2 月期の連結業績予想(平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	141,650	11.2	28,550	6.3	28,220	5.7	15,500	△15.6	205.86

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

- ② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数
(自己株式を含む)

24年2月期3Q	75,294,429株	23年2月期	75,294,429株
24年2月期3Q	164株	23年2月期	164株
24年2月期3Q	75,294,265株	23年2月期3Q	75,294,382株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であります。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考) 平成 24 年 2 月期の個別業績予想 (平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	123,000	9.3	25,360	7.1	25,240	2.7	13,500	△24.0	179.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	11
品目別販売実績	11
決算データ資料	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年11月30日まで)における事業環境は、3月に発生した東日本大震災による甚大な被害、また、原子力発電所事故に端を発した電力供給不安や風評などの諸問題により、経済情勢は急速に悪化しました。その後、被災地の復興需要をはじめとした消費動向は徐々に回復の兆しが見られつつありましたが、欧米の景気減速に伴う大幅な円高が、生産や雇用環境など景気回復を遅らせる要因となる恐れが出てきており、景況感は依然として先行き不透明な状態にあります。

シューズ業界におきましても、震災後、復興需要や節電対策を背景にライフスタイルの見直しに伴う新たなニーズが生まれるなど、夏までは改善傾向がみられましたが、9月以降は気温の高い状態が続いたため秋冬物の需要が弱含みで推移いたしました。

このような状況下、当社グループは積極的な出店を行い、国内については当第3四半期までで78店舗、子会社が展開する海外でも26店舗の新規出店を行いました。特に、国内の出店戦略といたしまして、既存商業施設のリニューアルに伴う新規出店、またロードサイド店舗の積極出店など、より一層幅広いお客様層の獲得を進めてまいりました。

また、販売政策におきましては、昨年度下期より引き続き、機能性やトレンド性など“付加価値提案ができる商品”をカテゴリーごとに商品手当、打ち出し強化したことに加え、テレビコマーシャルや新聞広告などの販促と連動した臨機応変な売場づくりが、震災後の消費者のニーズと上手くマッチした結果、売上は3月のマイナスを取り戻し、プラス成長を維持することができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)における連結業績は、売上高は前年同期比10.5%増の1,020億56百万円、営業利益は前年同期比4.2%増の199億70百万円、経常利益は前年同期比2.8%増の194億66百万円、四半期純利益は前年同期比22.8%減の104億78百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

商品面につきましては、高付加価値商品の提案を軸に、カテゴリーごとにそれぞれのニーズに沿った商品展開に注力いたしました。スポーツにつきましては、ここ数年来高まっている健康志向を背景に、より運動効率の高い機能性商品をテレビコマーシャルや新聞広告などの販促を絡めて前面に打ち出し、プロパー販売を戦略的に進め好調を維持しております。ビジネスにおきましては、通気性や防水性など機能性のある商品が注目されたほか、円高メリットを活用し、品質を高めた商品をリーズナブルに提供したことで売り上げを伸ばしました。また、レザーカジュアルにおきましても、震災を機に、身近で歩く機会が増えたことによる“歩きやすい靴”全般に対する注目が高まったことで、ウォーキングシューズ等も人気を集めました。

店舗展開におきましては、既存商業施設のリニューアルに伴う出店要請が増えていることやロードサイド店舗の出店強化などを背景に、年間74店舗の出店計画に対し当四半期に26店舗、当第3四半期までの9ヶ月間に78店舗の出店を行い、当第3四半期末における国内店舗数は649店舗(当四半期に1店舗閉店)となりました。なお、既存店においても、引き続き増床を含めた改装を積極的に進め、当第3四半期までの既存店の改装店舗は27店舗、うち増床店舗は16店舗となりました。

国内店舗の売上高増収率につきましては、当四半期は全店で前年同期比7.9%増、既存店で前年同期比1.0%増となりました。これにより、当第3四半期までの9ヶ月間は全店で前年同期比10.1%増、既存店で前年同期比3.7%増となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)の日本における売上高は前年同期比10.2%増の896億92百万円、営業利益は前年同期比6.1%増の180億35百万円となりました。

② アジア

アジアにつきましては、韓国の連結子会社ABC-MART KOREA, INC. (12月決算)が当四半期11店舗、当第3四半期までに23店舗出店(当四半期に2店舗閉店)したため、当第3四半期末時点(平成23年9月30日)で100店舗となりました。当第3四半期までの9ヶ月間における同子会社の業績は、売上高は前年同期比15.5%増の114億72百万円、営業利益は前年同期比7.4%増の17億40百万円となりました。ウォンベースで売上高は前年同期比30.4%増の1,759億63百万ウォン、営業利益は前年同期比21.3%増の266億97百万ウォンとなりました。

前年同期に比べ1割強の円高ウォン安により、円換算での成長率は低く出ております。

台湾の連結子会社ABC-MART TAIWAN, INC. (12月決算)は当四半期に2店舗出店し、当第3四半期末時点(平成23年9月30日)で7店舗となりました。なお、当第3四半期までの9ヶ月間における同子会社の業績は、売上高は前年同期比4.6%減の11億90百万円、台湾ドルベースでは前年同期比1.9%増の4億74百万台湾ドルとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)のアジアにおける売上高は前年同期比13.3%増の126億63百万円、営業利益は前年同期比6.6%減の19億48百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ88億58百万円増加し、758億99百万円となりました。主な要因は、借入金金の増加等による現金及び預金の増加22億35百万円、商品の増加33億2百万円、及びデリバティブ取引による増加9億31百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ30億35百万円増加し、470億81百万円となりました。主な要因は、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得による増加24億7百万円及び韓国子会社を100%子会社化したことによるのれんの純増加額5億57百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ84億40百万円増加し、360億99百万円となりました。主な要因は、長期短期の銀行借入による純増加額62億10百万円及びデリバティブ取引による増加15億62百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ34億53百万円増加し、868億81百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の四半期純利益の計上による増加及び配当金の支払による減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ22億46百万円増加し、408億14百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、90億2百万円の収入(前年同期比58億83百万円増)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益182億90百万円、減価償却費18億75百万円、売上債権の増加額20億53百万円、たな卸資産の増加額35億92百万円、デリバティブ評価損6億31百万円、及び法人税等の支払額107億20百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、93億1百万円の支出(前年同期比182億66百万円減)となりました。この主な要因は、子会社株式の取得による支出34億35百万円、新規出店及び店舗改装等に伴う有形固定資産の取得による支出45億51百万円、及び敷金及び保証金の差入による支出12億90百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、26億13百万円の収入(前年同期比40億94百万円増)となりました。この主な要因は、長期借入れによる収入100億円、長期借入金の返済による支出25億1百万円、短期借入金の純減少額12億82百万円及び配当金の支払額36億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績は概ね予定通りに推移しており、平成24年2月期第2四半期決算短信(平成23年10月5日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ203,175千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は711,978千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は72,179千円であり、敷金保証金の変動額は652,497千円であります。

(「連結財務諸表に関する会計基準」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)を適用しております。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,991,067	38,755,377
受取手形及び売掛金	3,645,809	2,370,937
商品	25,967,682	22,664,712
通貨オプション	931,667	—
繰延税金資産	844,858	829,175
その他	3,522,134	2,425,816
貸倒引当金	△3,781	△4,890
流動資産合計	75,899,438	67,041,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,732,647	15,119,964
減価償却累計額	△7,567,302	△6,618,314
建物及び構築物(純額)	10,165,344	8,501,650
車両運搬具及び船舶	457,319	445,208
減価償却累計額	△379,104	△352,277
車両運搬具及び船舶(純額)	78,214	92,931
工具、器具及び備品	2,862,174	2,511,735
減価償却累計額	△1,503,416	△1,260,865
工具、器具及び備品(純額)	1,358,758	1,250,869
土地	17,150,790	16,827,283
建設仮勘定	352,737	23,148
その他	7,411	8,138
減価償却累計額	△3,661	△1,808
その他(純額)	3,749	6,330
有形固定資産合計	29,109,595	26,702,214
無形固定資産		
のれん	999,862	442,774
その他	1,054,487	1,076,689
無形固定資産合計	2,054,350	1,519,463
投資その他の資産		
投資有価証券	88,996	97,544
関係会社株式	84,175	84,175
敷金及び保証金	14,298,837	14,396,825
その他	1,455,881	1,245,700
貸倒引当金	△10,000	—
投資その他の資産合計	15,917,889	15,824,244
固定資産合計	47,081,835	44,045,922
資産合計	122,981,274	111,087,052

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,716,391	7,469,784
短期借入金	3,333,959	4,622,515
1年内返済予定の長期借入金	8,500,000	3,750,000
未払法人税等	2,572,084	5,534,427
賞与引当金	970,936	481,782
資産除去債務	19,071	—
設備関係支払手形	905,452	832,742
その他	4,030,166	3,267,711
流動負債合計	30,048,062	25,958,964
固定負債		
長期借入金	4,009,800	1,261,200
資産除去債務	53,108	—
通貨オプション	1,562,835	—
その他	425,889	438,693
固定負債合計	6,051,634	1,699,893
負債合計	36,099,696	27,658,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,482,930	3,482,930
資本剰余金	7,488,686	7,488,686
利益剰余金	77,204,200	70,340,159
自己株式	△522	△522
株主資本合計	88,175,295	81,311,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,210	△4,182
為替換算調整勘定	△1,581,873	△893,937
評価・換算差額等合計	△1,591,084	△898,119
少数株主持分	297,366	3,015,060
純資産合計	86,881,577	83,428,195
負債純資産合計	122,981,274	111,087,052

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	92,382,099	102,056,536
売上原価	38,151,522	42,358,214
売上総利益	54,230,577	59,698,322
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,241,005	1,384,534
広告宣伝費	4,668,803	5,100,499
保管費	814,524	990,171
役員報酬及び給料手当	9,886,561	11,014,149
賞与	210,778	246,742
賞与引当金繰入額	852,514	970,936
法定福利及び厚生費	1,153,667	1,401,200
地代家賃	8,741,430	9,981,354
減価償却費	1,585,789	1,875,006
水道光熱費	1,044,504	1,041,932
支払手数料	1,379,447	1,581,181
租税公課	397,962	398,714
貸倒引当金繰入額	321	9,216
のれん償却額	24,598	230,761
その他	3,071,209	3,501,012
販売費及び一般管理費合計	35,073,120	39,727,414
営業利益	19,157,456	19,970,907
営業外収益		
受取利息	12,778	26,513
貸貸収入	298,665	301,994
保険配当金等収入	5,973	—
広告媒体収入	51,800	46,267
その他	288,509	95,639
営業外収益合計	657,726	470,415
営業外費用		
支払利息	138,479	107,240
為替差損	123,293	38,400
持分法による投資損失	391,220	—
貸貸費用	145,122	134,704
デリバティブ評価損	—	631,168
その他	83,350	63,020
営業外費用合計	881,467	974,534
経常利益	18,933,716	19,466,788

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
特別利益		
固定資産売却益	924,435	4,930
関係会社株式売却益	3,475,693	—
保険解約返戻金	11,201	—
特別利益合計	4,411,329	4,930
特別損失		
固定資産売却損	82,552	—
固定資産除却損	40,511	83,739
減損損失	346,197	456,802
商品廃棄損	—	25,727
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	508,802
災害による損失	—	53,518
義援金	—	52,957
特別損失合計	469,261	1,181,547
税金等調整前四半期純利益	22,875,783	18,290,171
法人税、住民税及び事業税	8,926,774	7,802,322
法人税等調整額	△26,848	△13,752
法人税等合計	8,899,926	7,788,569
少数株主損益調整前四半期純利益	—	10,501,601
少数株主利益	399,080	23,435
四半期純利益	13,576,776	10,478,165

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,875,783	18,290,171
減価償却費	1,585,789	1,875,006
賞与引当金の増減額(△は減少)	382,611	489,153
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,980	8,891
受取利息及び受取配当金	△117,454	△27,237
支払利息	138,479	107,240
為替差損益(△は益)	187,795	△8,058
デリバティブ評価損益(△は益)	—	631,168
持分法による投資損益(△は益)	391,220	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△3,475,693	—
固定資産除売却損益(△は益)	△801,371	78,808
減損損失	346,197	456,802
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	508,802
売上債権の増減額(△は増加)	△1,352,513	△2,053,582
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,186,180	△3,592,982
仕入債務の増減額(△は減少)	2,026,770	2,214,903
その他	234,809	877,637
小計	15,240,226	19,856,725
利息及び配当金の受取額	7,526	19,223
持分法適用会社からの配当金の受取額	187,203	—
利息の支払額	△131,487	△61,812
災害損失の支払額	—	△37,552
義援金の支払額	—	△52,957
法人税等の支払額	△12,184,103	△10,720,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,119,365	9,002,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△46,586	△5,020
定期預金の払戻による収入	11,761	5,020
投資有価証券の売却による収入	4,387	—
有形固定資産の取得による支出	△2,578,524	△4,551,197
有形固定資産の売却による収入	3,589,547	13,049
無形固定資産の取得による支出	△312,622	△146,867
店舗撤去に伴う支出	△25,291	△52,357
関係会社株式の売却による収入	10,160,000	—
貸付けによる支出	△252,000	△250,500
貸付金の回収による収入	28,565	41,426
子会社株式の取得による支出	—	△3,435,971
敷金及び保証金の差入による支出	△2,019,423	△1,290,689
敷金及び保証金の回収による収入	522,582	410,477
その他の支出	△175,140	△75,703
その他の収入	57,483	36,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,964,738	△9,301,791

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,384,789	△1,282,372
長期借入れによる収入	—	10,000,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,501,400
配当金の支払額	△2,861,186	△3,600,702
その他	△4,126	△1,811
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,480,523	2,613,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,785	△68,372
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,566,794	2,246,237
現金及び現金同等物の期首残高	24,516,232	38,568,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,083,027	40,814,798

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

品目別販売実績

当第3四半期連結累計期間における品目別の販売実績は以下のとおりであります。

品目別	前第3四半期連結累計期間 (千円)	当第3四半期連結累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
スポーツ	46,151,220	51,447,740	11.5
レザーカジュアル	13,132,357	14,440,654	10.0
レディース	12,548,544	13,095,812	4.4
ビジネス	6,897,251	7,610,100	10.3
キッズ	5,110,266	5,489,710	7.4
サンダル	3,253,537	4,217,697	29.6
その他	5,288,920	5,754,820	8.8
売上高合計	92,382,099	102,056,536	10.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2012年2月期 第3四半期 決算データ資料
(期間: 2011年3月1日~2011年11月30日)

1. 連結経営成績

(単位:百万円,%)

	前年同四半期 (2011年2月期第3四半期)			当四半期 (2012年2月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	31,295	100.0	12.9	32,333	100.0	3.3
売上総利益	18,566	59.3	15.6	19,188	59.3	3.3
販管費合計	12,350	39.5	18.5	13,159	40.7	6.5
営業利益	6,215	19.9	10.3	6,028	18.6	▲3.0
経常利益	6,450	20.6	11.0	6,247	19.3	▲3.1
税引後当期純利益	6,003	19.2	94.5	3,499	10.8	▲41.7

(単位:百万円,%)

前年同四半期累計 (2011年2月期第3四半期)			当四半期累計 (2012年2月期第3四半期)		
金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
92,382	100.0	12.2	102,056	100.0	10.5
54,230	58.7	14.7	59,698	58.5	10.1
35,073	38.0	18.3	39,727	38.9	13.3
19,157	20.7	8.6	19,970	19.6	4.2
18,933	20.5	3.3	19,466	19.1	2.8
13,576	14.7	34.4	10,478	10.3	▲22.8

2. 単体経営成績

(単位:百万円,%)

	前年同四半期 (2011年2月期第3四半期)			当四半期 (2012年2月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	27,216	100.0	8.0	29,507	100.0	8.4
売上総利益	16,381	60.2	11.8	17,736	60.1	8.3
販管費合計	11,062	40.6	16.7	12,182	41.3	10.1
営業利益	5,318	19.5	2.7	5,554	18.8	4.4
経常利益	5,561	20.4	2.3	5,782	19.6	4.0
税引後当期純利益	5,476	20.1	78.6	3,167	10.7	▲42.2

(単位:百万円,%)

前年同四半期累計 (2011年2月期第3四半期)			当四半期累計 (2012年2月期第3四半期)		
金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
81,239	100.0	7.8	89,583	100.0	10.3
48,228	59.4	11.1	53,180	59.4	10.3
31,423	38.7	16.3	35,182	39.3	12.0
16,805	20.7	2.5	17,998	20.1	7.1
17,528	21.6	3.5	17,607	19.7	0.5
13,180	16.2	37.8	9,221	10.3	▲30.0

3. 国内店舗推移

	2011年2月期	2011年11月(第3四半期)		
	期末	出店	閉店	期末
路面店	84	2	1	85
商業ビル	90	13	0	103
S C	255	34	0	289
N S C	56	10	1	65
ロードサイド	50	16	0	66
アウトレット	39	3	1	41
計	574	78	3	649

4. ABC-MART KOREA経営成績

(単位:百万won,%)

	前年同四半期累計 (2010年12月期第3四半期)			当四半期累計 (2011年12月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	134,913	100.0	41.0	175,963	100.0	30.4
売上総利益	72,590	53.8	41.6	93,091	52.9	28.2
販管費合計	50,576	37.5	36.5	66,393	37.7	31.3
営業利益	22,013	16.3	55.1	26,697	15.2	21.3

(単位:百万won,%)

10.9実績 100w=7.36円	前年同四半期累計 (2010年12月期第3四半期)			当四半期累計 (2011年12月期第3四半期)		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
11.9実績 100w=6.52円	9,929	100.0	35.7	11,472	100.0	15.5
売上高	5,342	53.8	36.3	6,069	52.9	13.6
売上総利益	3,722	37.5	31.3	4,328	37.7	16.3
販管費合計	1,620	16.3	49.2	1,740	15.2	7.4
営業利益						

*ABC-MART KOREAは12月決算であります。

5. ABC-MART KOREA店舗推移

	2010年12月期	2011年9月(第3四半期)		
	期末	出店	閉店	期末
直営店	74	20	3	91
百貨店	8	3	2	9
計	82	23	5	100